

JCLIFE

2016年
11月号

JCI

一般社団法人尾道青年会議所 <http://www.ojc.or.jp/> ☎ 722-0035 尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所ビル3F
TEL:0848-20-1110 FAX:0848-20-1112 E-mail: ojc@urban.ne.jp Facebook: <http://www.facebook.com/isojcnw>



普通に感動するだけでは、それは直ぐに記憶の中から消えてしまうが、期待を超えればリピーターが非常に増えて地域から愛されるということでした。そのことがきっかけで、一番初めに委員会はメンバーやスケジュールにも例会は島根電工の社長をお呼びしたい」と伝えていました。それが現実

私は4年前に荒木恭司氏の講演を受けて非常に目からウロコでした。期待を超える感動を生むことができるのには相手が思う以上に相手の困っていることをなにげなく解決していくべきはその感動は生まれます。

社がある、島根電工株式会社代表取締役社長荒木恭司氏をお招きし、まちから愛される企業の考え方、方針を講演頂きました。

「期待をこえる感動を！」と題し、尾道青年会議所がどうすれば地域から愛され必要とされる団体となれるのか、どうしていけば地域から愛される団体となれるのか。さらに皆様の企業活動でも非常に参考にできるという

10月例会

となり非常に満足しております。

当日の講演の内容は鳥

根電工の実例集を用いて
会社の成功例を説明して
くださいました。

電気工事は關係していません。でも、分かり易い説明で私自身もしつかり理解できました。

「事業を立ち上げてもいつまでも抱えてはいけない、他の団体に引き継いで自分達は新たにことを探す」

とか、「企業の最大の地域貢献は雇用」だとか他の講演でもきいたことのある内容がでてきて、やっぱりそうだったのか！と改めて認識できました。すると、他でも聞いたことのある、「事業を立ち上げてもいつまでも抱えてはいけない、他の団体に引き継いで自分達は新たにことを探す」

例会当日、当委員会は100%出席で、メ

はタイトルドおりに「期待をこえる感動をー」
生むことができたと感じました。

当委員会は、あと短い期間で事業が2つ
あります。が、委員会も「期待をこえる感動
を!!」皆様に伝えていけるように邁進してま
ります。

(記事…会員・地域交流委員会 委員長 山本慎也)

日本で一番子どもが元気なまち

10月15日(土)にびんご運動公園サブアリーナ及び視聴覚室にて、「日本で一番子どもが『元気なまち』と題して事業を開催致しました。この事業は、現代の子ども達が運動量の不足により、運動器が正常に動かない疾患である「口コモテイブシンドrome」にかかる子どもが全国的に増えている現状を改善することを目的としたのです。

多くの方にご参加いただき、皆様が子どもとの体作りについて真剣に考えていただくことができたのではないかと思います。当日ご参加いただきました皆様、そしてメンバーの皆様、本当にありがとうございました。



卒業生スピーチ

私の卒業生スピーチですが、実は今は朝の3時くらいまでで原稿用紙3枚くらい文章を書いてみました。これがちょっと誤算でない方が良いと思うので、約5分くらいでLOM歴を振り返り返してみたいと思います。

入会したのが平成18年。沼田副理事長が私の正推薦者です。何度か電話をかけてきたり、家に押し掛けてきたりで最終的には会員にならなかったのですが、仮入会の時、沼田さんは地元教育実践委員会の委員長をされていましたが、事業とかすごく頑張るんですね。それを見ていたら同じ級生がここまでやっているんだから俺もやらないといけんなと変な火が着きました。それからじつのめり込む様になりました。入会のきっかけとなつたのが平成18年です。19年に杉谷先輩の委員会の中で、今で言う委員会幹事をさせていただいたのですが、その年末にしまなみ海道の無料化に関する署名活動と言うのをやりました。ある意味じつの方を優先してましたとどうぞ。それがありますて、度うちの親父に「めちゃくちゃ怒られました」とお前仕事とじつはちう大事なんなあ!って。さすがにこのままのペースじつをやめてばい声をかけていました。仕事とじつとのバランス感覚で大事なんだなって言ふことを勉強させてもらいました。その翌年は総務情報委員会。吉原寿希委員長の委員会だったのですが、この辺になるとじつに慣れて来てちょっと天狗になつてくる時期でした。自分も今から思えばちよと天狗になつていたな、と反省しております。その天狗の鼻がへし折られたのが、翌年の理事セクレタリーの年です。何をやつても失敗だらけで、当時の理事長はまだ上級事務官。理事会は銀治川先輩。怒られても、怒られるとまた大變だつたと思います。しかし怒れながらも、この時は「怒つてもらええ」というふうに感じて、怒つてもらえんことはそれだけ期待される事の裏返しなんだらうなと思ひながら、セクレタリーをさせて頂きました。この時は太田監事が同期セクレタリーで役割として太田さんが運営セク、僕が会計セクでやつっていました。まあ太田さんはすごいですよ。理事長の行くところほぼ全部付いて行かれて、太田さんも当然仕事とかありながら、平日の日中であろうが何だろうが、理事長が行くところには絶対行くと決められてすごいなと思つていきました。じき先輩も負けてられないという事で、太田さんが外で頑張つました。そして太田さんが運営セク、僕が会計セクでやつていました。まあ太田さんはすごいですよ。理事長の行くところほぼ全部付いて行かれて、太田さんも当然仕事とかありながら、平日の日中であろうが何だろうが、理事長が行くところには絶対行くと決められてすごいなと思つています。じき先輩も負けてられないという事で、太田さんが外で頑張つました。このセクレタリーをやったのが非常にいい経験となりました。それを受けて総務広報委員会の委員長をやらせて頂いたのですが、一発目にじつ手帳でボカをやらかしました。理事長の活動指針がまるづつ来た時に会場に行つて書類とか資料から全部支度してみんながきり抜けているという状態でした。当然怒られました。ただ、当時の事務理事であつた谷前先輩や副理事長の杉谷先輩をはじめとする皆さんが、何とかして部員を助けてやろうという意気になったのです。どうやら手帳をいい方間に修正できるか必死を考え頂き、「いやあ、こういう風にしよう。」と案を出して頂き助けて頂きました。それ以外にも委員長をしてほんとに失敗だらけだつたのですが、その度に副理事長や当時の委員会メンバーとか事務局さんに助けられた覚えがあります。その翌年、LOVEしまなみ委員会で河井茂先輩が委員長だつたのですが、やっぱり音楽フェスすがよかったです。この年は一年の最初か

ら終わりまでずっと何かしらの事業があり、最後は卒業例会もあったと思います。ほんとに1年中突っ走ったという年でした。このLOVEしまみなみ委員会の6月位に声がかからで翌年は任をうけました。まさに自己努力で得たところです。すこし早いですが、私は一年間で何をやったかを振り返ります。

うか、たくさん時間お金を使い、時に仕事や家庭よりJCを優先し
てまで、なぜ、JCを続けられるんでしようか?その答えはきっと、この
道で青年会議所には日常で経験できない多くの経験と、共に支え
合つて、成長していく中で、自分たちが、どうして、ここにいるのか、よく

「皆さんの前に立ってお話をさせていただいたことも何回かあります。それでも、ここまで強い視線を感じることはなかなかかつたでありますね。ここに立つと結構緊張しますよ。緊張はすごいのですから、心地よい気分でござりますよ。」



健志

だった時です。この年も頑張ってやろうと言った反面、やっぱり失敗が多くて、その時の社務理事も太田さんで、事務局が河井先輩、セクレタリーで、美ノ上君、森村君、石森君が付いて事務局長が河井先輩に迷惑かけたなど、「一番迷惑かけたのが、ちょうどこの年に一般社団法人に移行するにあたり、一般社団法人に移る前の決算と移つてから予算を出す必要があったのですが、それを忙しさという勝手な理由にかこつけて中途半端にした結果、総会でケチッキンを食らいまして、この時もめどもそうで、段取りを上手くやっておけば仕事本番は結構上手くいった。本当に反省しております。そのよくななことを心がけてからじとをつてもらえればと思います。その翌年、初めての副委員長で徳水委員長以下、徳ちゃんの情報ネットワーク委員会の副委員長させもらいました。徳ちゃんには色々と怒り、たまたま怒鳴り上げて本当にすみませんでした。本当に反省しております。こんなことをやっちゃいけない副委員長だったなだと思います。でも徳ちゃんは本当にすごい頑張って、卒業例会にフォトアルバムを作ることと、卒業生の思い入れのある人から手紙を貰うということを行いました。徳ちゃんはあの時すごい頑張ったもんね。それを覚えていて、やっぱりアメブロでいる人を見るたび助けてもらいたいな、応援してあげたいなと思うのが委員長でした。でも最後は本当に頑張った年だったなと思います。その翌年が2回目の明け年で、福田先輩が委員長だった交流系の委員会で、新年宴会に始まりクリスマス会で終わるという委員会でした。この時も楽しくやらせてもらいました。あと同時に、吉原敏哉委員長の地域ビジョン創造委員会に配属になりました。独身が多くそのメンバーがみんなカーフ好きで、委員会そつものでカーブの結果をアブリで観て、福田さんが「委員会しようやあ」と怒る委員会でしたが、楽しい委員会でした。その翌年、監事を受けたと同時に、吉原敏哉委員長の地域ビジョン創造委員会に配属になりました。最後に今年は副理事長と言つ立場で、山本委員会と大西委員会を受け持たせて頂いたのですが、両委員長とも特徴のある性格で、なかなか楽しげな副理事長をさせてもらつたと思っています。この年には大西君と一緒にブルゴ松本の講演を回観ようつて事で石川県の小松市に日帰りで行つてみたり、横尾君は一緒に松江まで、10月例会の講師の荒木委員長になつたので、横尾君はなつかつたらじなんな経験でないつていう貴重な経験をさせて貰いましたし、副理事長といつ立場だから色々な人に会う事が出来て、いい経験になつたなと思います。あと少ししか時間がないので、今朝3時まで書いた原稿はほんの割愛して、最後にクイズネタで締めたいと思います。「アメリカ横断ウルトラクライズ」つづき皆さん知っていますよね?あの第15回の大会に、初代司会者の福留功男アナウンサーが東京ドームで引退宣言をするのですが、その時の言葉がすごく印象に残っているのでそれを紹介させていただきます。「皆さん、なぜウルトラクライズに挑戦するのですか?」という言葉を東京ドームの約3万人の挑戦者に聞きました。「皆さん、なぜウルトラクライズに挑戦するのですか?」との答は結構多く、ウルトラクライズがあるのは日常を打破する素晴らしい冒險がある事を皆さん方が知つておられるからじゃないでしょ?」「なぜウルトラクライズに挑戦するのですか?」と云ふ言葉が東京ドームの約3万人の挑戦者に聞きました。「皆さん、なぜウルトラクライズに挑戦するのですか?」と云ふ言葉が東京ドームの約3万人の挑戦者に聞きました。「皆さん、なぜウルトラクライズに挑戦するのですか?」と云ふ言葉が東京ドームの約3万人の挑戦者に聞きました。

本当に長い間ありがとうございました。



本多 隆士

皆さんはこんばんはこのような機会を与えていただきまして有難うございます15分と云う事なのでですが、今辻君の話をさせて終わるか少し心配になりましたが、直前理事長総評を頂愛させて頂きましたので少しお時間を持たなければともいます。まず今ご紹介を頂きましたが改めてみると私も推薦を結

定款運営規程 調査研究

この度11月合同委員会にて定款運営規程の歴史とその意味合いなど、普段接することの少ないのであろう事を再確認し、メンバーの皆さんが青年会議所活動を行なう一助となつたと思います。これからも青年会議所活動と奉仕・修練・友情そして活動指針をもとに活動して行きたいものです。

(記事:村上成司)



11月1日(火)～3日(木)にかけて尾道を代表する秋祭りベッチャーフ祭が開催されました。

多くのJJCメンバーが小太鼓、大太鼓また神輿の担ぎ手として参加しました。1日の前夜祭の疲労を抱えながら、3日は早く朝6時に集合し参加者全員で参拝し、午前7時に宮を出発。当日は天候にも恵まれて太鼓、神輿、三鬼神(ベタショーキンバ)と獅子が尾道市内を練り歩きました。午前中の見せ場、しまなみ交流館前広場では多くの観客の中で三鬼神によるベッチャーフ祭。

多くのJJCメンバーが小太鼓、大太鼓また神輿の担ぎ手として参加しました。1日の前夜祭の疲労を抱えながら、3日は早く朝6時に集合し参加者全員で参拝し、午前7時に宮を出発。当日は天候にも恵まれて太鼓、神輿、三鬼神(ベタショーキンバ)と獅子が尾道市内を練り歩きました。午前中の見せ場、しまなみ交流館前広場では多くの観客の中で三鬼神によるベッチャーフ祭。

多くのJJCメンバーが小太鼓、大太鼓また神輿の担ぎ手として参加しました。1日の前夜祭の疲労を抱えながら、3日は早く朝6時に集合し参加者全員で参拝し、午前7時に宮を出発。当日は天候にも恵まれて太鼓、神輿、三鬼神(ベタショーキンバ)と獅子が尾道市内を練り歩きました。午前中の見せ場、しまなみ交流館前広場では多くの観客の中で三鬼神によるベッチャーフ祭。

祭りの最後は見せ場である二宮神社境内への階段でベッチャーフ祭。太鼓に続き、境内での神輿を回す様子は鳥肌が立つ圧巻の一言でした。



去年の10月にスタートした会員拡大推進会議は計10回実施し、その中で多くの拡大情報を抽出することができます。基本である拡大候補者への訪問を繰り返し、仮入会員としては一時17名に達することができました。仮入会期間中に一人一人と話しかける中でそれぞれの状況から入会できない方もいらっしゃいます。ただ次年度以降の入会希望者も数名いらっしゃいます。

数字としてはまだまだという結果となりましたが、今回正式に入会される10名は本当に意識の高い方ばかりです。これから仲間になれるなどを楽しみに感じています。

11月16日を以て尾道青年会議所の一員になる10名に対し、今後お声掛けやフォローを頂ければありがたく思います。宜しくお願い致します!

(記事:宮地晃一郎)

会員拡大結果 推進会議 新入会員10名

歯科医師
鍋島巧
コラム

歯は命

始めに、前回の内容に少し訂正をさせて下さい。検診と別日に治療を開始した場合、初診料がかかるような記載になつていましたが、初診料ではなく再診料でした。訂正させて頂きます。さて、今回は同じ甘いものでも砂糖よりキシリトールが何故ムシ歯になりにくのかをお話しします。まず、ムシ歯の成り立ちですが、原因はムシ歯菌と砂糖の主成分であるショ糖(シュクロース)です。ショ糖が口中に入ると分解され、ショ糖はアドウ糖(フルコース)と果糖(フルクトース)に分解されます。ムシ歯菌はグルコースからグルカン、フルクトースから乳酸を作り出します。グルカンはネバネバした物質で、歯にくついて歯垢の基になります。そこに酸性の物質である乳酸がくついて歯を溶かしていきます。グルカンだけでは歯を溶かしませんし、乳酸はあつたとしても、歯にくつづかずにすぐに流れてしまえば、大きな問題はありません。簡単にいうと、アドウ糖(フルコース)と果糖(フルクトース)が一緒にないとムシ歯にはなりにくいといふ事になります。そこで、キシリトールですが、この甘味料は、マルチトールという成分で、ムシ歯菌は分解したりしません。ですから、乳酸もグルカンも作り出しませんから虫歯になります。ここでは、キシリトールですが、この甘味料は、マルチトールという成分で、ムシ歯菌は分解したりしません。ですから、乳酸もグルカンも作り出しませんから虫歯になります。ここでは、キシリトールですが、この甘味料は、マルチトールという成分で、ムシ歯菌は余り関与しませんので、虫歯になりにくい事が予想されます。ただ、蜂蜜は製品によって、砂糖が添加されているかもしれませんので、注意が必要です。ということで、虫歯を予防するには依然お話ししたことが大切になります。

(記事:鍋島巧)

日が暮れるのが早くなり、朝晩とても寒くなりました。北海道では既に雪が降ったとの事でした。本年度もあと1月半となり、10名の卒業生も色々な思い出を感じながら過ごされているのではないでしようか。卒業生スピーチも今回が最後となりました。卒業する身としましてはやはり寂しさを感じます。さあ、11月も半分終わりました。今年は12月も事業があります。最後まで気を引き締めて行きましょう。

(記事:村上成司)